

2020年7月31日

本リリースは、2020年7月31日に発表されたものの日本語抄訳版です。

2020年6月30日上期決算報告書

困難な環境下、マルチ・カテゴリー戦略が奏功し成長

	2020		前年同期比変化率	
	実勢為替レート	同一為替レート	実勢為替レート	同一為替レート
主要非財務指標¹				
紙巻たばこおよびTHPの数量ベースのシェア			+0.5ポイント	
紙巻たばこおよびTHPの金額ベースのシェア			+0.2ポイント	
非燃焼性たばこ利用者	1,160万人		+110万人	
主要財務指標				
IFRS :				
売上	122.71億ポンド		+0.8%	
営業利益	50.97億ポンド		+16.4%	
オペレーティングマージン	41.5%		+5.5ポイント	
実効税率	23.0%		▲2.1ポイント	
一株当たり利益 (EPS)	151.2ペンス		+22.7%	
希薄化EPS	150.7ペンス		+22.7%	
営業活動による正味キャッシュ・フロー	34.84億ポンド		+52.3%	
キャッシュ・コンバージョン比率	68%		+16ポイント	
借入金	504.61億ポンド		+0.3%	
非GAAPベース :				
同一条件下ベースの調整後売上*	122.71億ポンド	124.34億ポンド	+1.1%	+2.4%
同一条件下ベースの調整後営業利益*	53.68億ポンド	53.79億ポンド	+3.1%	+3.3%
調整後オペレーティングマージン	43.7%	43.3%	+0.8ポイント	+0.4ポイント
基本税率	25.0%	24.9%	▲1.6ポイント	▲1.7ポイント
調整後希薄化EPS	157.8ペンス	159.1ペンス	+5.7%	+6.6%
調整後営業活動によるキャッシュ・フロー	28.06億ポンド	27.19億ポンド	+91%	+85%
キャッシュ・コンバージョン比率	80%		+14ポイント	
正味負債	442.37億ポンド		▲2.8%	

調整後利益および同一為替レート等の非GAAPベースは、英語版暫定決算報告書の59頁～64頁に比較可能なIFRS（国際会計基準）の定義を提示してありますのでご参照下さい。

最高経営責任者 ジャック・ポールズのコメント：

「ブリティッシュ・アメリカン・タバコ（以下「グループ」または「当社」）の業績は、3つの優先事項²の達成に引き続き焦点を当てることで現在の環境に素早く順応することが可能となり、厳しい状況にありながらも順調に推移しています。

1. より良い明日を築く
 - 当社の売上の1割を非燃焼製品カテゴリーが占める
 - 2030年までに非燃焼たばこの利用者を5000万人まで増やすという目標に向け順調に取り組みが進められている
 - 新カテゴリーのマーケティングへの2億5,000万ポンドの追加投資
2. 同一為替ベースの調整後売上、営業利益、収益率は引き続き好調
 - 紙巻たばこの堅強なプライスマイクスが当社の差別化されたブランドポートフォリオの強みを反映
 - それにより紙巻たばこおよび加熱式たばこ（以下「THP」）における数量減少（6.3%）が相殺される
 - 新型コロナウイルス（以下、コロナ禍）の影響により2020年上期の調整後売上は前年同期比約4%減少
3. マルチ・カテゴリーにおける消費獲得により市場シェアが拡大
 - 当社の非燃焼たばこの利用者は2019年6月からの12か月間で累計270万人増加（2019年12月からは110万人増加）し1,160万人となった
 - 新カテゴリーの売上は12.7%上昇
 - THPの数量ベースのシェアおよびベイパーの金額ベースのシェアは共に拡大、また、モダン・オーラル製品の同一為替レートでの調整後売上は71%増加
4. 燃焼たばこのシェアは数量ベース、金額ベース共に堅調に拡大
 - 紙巻たばこのシェアは数量ベース、金額ベースともに、それぞれ0.5ポイント、0.2ポイントの拡大
 - 差別化された紙巻たばこポートフォリオの強みがシェアの伸びに大きく貢献
 - 戦略的紙巻たばこおよびTHPのポートフォリオは、現在、紙巻たばこおよびTHPの総販売数量の66%を占める
 - 米国においては、紙巻たばこの数量ベースおよび金額ベースのシェアが、それぞれ0.1ポイント、0.3ポイント拡大
5. 多様な市場における事業展開を後ろ盾にコロナ禍の厳しい環境を乗り越える
 - 先進国市場（当社の調整後売上の75%）における消費動向は、価格設定が良好で安価な商品へ移行する動きが加速する兆しもさほどなく、引き続き堅調
 - 新興国市場では、紙巻たばことTHPで数量ベースのシェアが0.7ポイント拡大
 - 違法取引が減少し営業力を活かすことのできる市場での販売数量は大きく伸びている
 - 厳しい都市封鎖が敷かれた地域（例：南アフリカ）では、市場全体が低迷

- コロナ禍による同一為替レートの調整後売上への 2020 年度通年への悪影響は、引き続き 3%程度になるものと予想

6. 当社の取組み

- 2020 年度の業績予想達成に向け順調に推移
- コロナ禍収束後の同一為替レート調整後の売上成長率 3%~5%および同一為替レート調整後希薄化 EPS の 1 桁台後半の成長率の達成という中期的予想を維持
- 65%の配当性向を維持

困難な時期にたゆまぬ努力を重ねてくれている、当社の社員、お客様、ビジネスパートナーに感謝します。今後数か月間、不安定な状況が続くことが予想されます。しかし、当社の戦略を加速させるための投資は引き続き行っていく所存です。優れたモメンタムを高めていくことで、今回の危機を乗り越えた暁には、当社はより強靱で優れた企業に成長しているものと信じています。」

2020 年 7 月 31 日 ジャック・ポールズ

2020 年度の見通し :

- 同一為替レートの調整後売上は、以前に発表した通りコロナ禍による逆風から売上は約 3% 減となると予想されることから、感染拡大からの回復がグローバル規模で下期も継続するとの想定を踏まえ、1%~3%増となる予想
- 調整後希薄化 EPS は 1 桁台半ばとなる予想
- 修正された 2025 年の新カテゴリーの売上目標 50 億ポンド達成に向け更に進展する見込み
- 2020 年度、グローバルの紙巻たばこおよび THP 市場全体の販売数量の落ち込みは約 7%と予想
- 2020 年度の米国市場の販売数量は、消費者需要が回復する一方でコロナ禍の影響を受けた高い在庫水準が続いたことにより、約 2.5%減少（前年度は約 4%減）する予想
- 2020 年 8 月に予定されている、南アフリカにおける販売規制に対する当社の異議申し立ての法定審問は、当社にとって良い結果となる見込み（現在、調整後利益への影響はひと月当たり 2,500 万ポンド）
- グローバルの免税品市場（GTR）は、今年度いっぱい引き続き（コロナ禍により）大幅な影響を受ける見込み
- 法人税率は以前予想していた 25.5%をやや下回ると予想
- 関連会社（主にインドの ITC）から下期に当社が受け取る収益も、コロナ禍の影響を被ると予想
- 本日の現物為替レートで計算すると、2020 年度通年の業績への為替換算によるマイナス影響は約 2.5%となる見込み
- 営業キャッシュ・コンバージョン比率（営業活動による正味キャッシュ・フローの営業利益に対する割合）は 90%を上回るものと予想

主要収益指標の概要：

IFRS

- 売上は0.8%増の122億7,100万ポンド（2019年6月30日期：121億7,000万ポンド）。
- 営業利益は、比較となる前年同期がカナダにおけるケベック州の集団訴訟に関連した費用計上の影響を受けていたことからオペレーティングマージンが41.5%へと5.5ポイント拡大し、16.4%増の50億9,700万ポンドとなった。
- 一株当たり利益（EPS）、希薄化EPSは、それぞれ151.2ペンス、150.7ペンスと、ともに22.7%増加。
- 借入金は、今期の社債発行および米国ドルとユーロに対するポンド安を受けた為替換算のマイナス影響を反映し、2019年12月31日期より増加し、504億6,100ポンド（2019年12月31日期：453億6,600万ポンド、2019年6月30日期：502億9,200万ポンド）となった。
- 営業活動による正味キャッシュ・フローは、米国における消費税および法人税の2020年下期への全額繰り延べを主因に、52%増の34億8,400万ポンド（2019年6月30日期：22億8,800万ポンド）となった。これは、コロナ禍による在庫積み残しの増加による4億900万ポンドのマイナス影響を相殺して余る格好となった。

販売数量と市場シェア

- 紙巻たばこおよびTHPの総販売数量は6.3%減の3,150億本（2019年6月30日期：3,360億本）で、それぞれの販売数量は紙巻たばこが6.5%減、THPが9.1%増となった。新型コロナウイルス感染拡大防止による海外旅行への規制がGTR事業へ継続的な影響を及ぼし、紙巻たばこおよびTHPの販売数量を1.1%押し下げる結果となった。GTRを除く紙巻たばこおよびTHPの販売数量は市場全体の推定6%減³に対し5.3%減となった。先進国市場における紙巻たばこの販売数量は（コロナ禍の）影響をほぼ受けなかったものの、新興国市場におけるそれらの販売数量は、南アフリカ、メキシコ、アルゼンチンなどにおける政府による一斉工場閉鎖や、特にアジア太平洋および中東（APME）地域などその他多数の市場における厳密で長期に及ぶ都市封鎖による影響を受けた。販売数量は、現地の価格および税金が要因となったインドネシアや、不正取引が増大したパキスタンで減少した。
- 主要市場では、金額ベースのシェア⁴が0.2ポイント拡大した一方で、数量ベースのシェア⁵は前年同期比で0.5ポイント拡大。
- 戦略的紙巻たばこおよびTHPでは販売数量が3.4%減少したものの、数量ベースのシェアは0.3ポイント拡大、金額ベースのシェアは0.4ポイント拡大するなど、全ての地域でシェア拡大が見られた。

非GAAP調整後ベース

- 調整後売上⁶は、同一為替レートで売上が93億8,200万ポンドへ6.2%増加した戦略的ポートフォリオが牽引し、1.1%増の122億7,100万ポンド（同一為替レートでは2.4%増の124億3,400万ポンド）。

- **燃焼たばこの調整後売上は、紙巻たばこのプライスマイクスが販売数量の減少を相殺して余る 8.5%増となり、0.5%の増加（同一為替レートでは 2.2%）。**
- **新カテゴリーの売上は 6 億 2,800 万ポンドへ 14.7%増加（同一為替レートでは 12.7%）。**
 - THP の販売数量はロシア、ウクライナ、スペイン、イタリア（glo Pro および新発売の glo Hyper が牽引）の販売数量増大が、日本における販売数量減（在庫調整による影響）を相殺して余る形となり、9.1%増となった。売り上げは 8.7%減少の 2 億 8,600 万ポンドとなったが、これは主に日本における消費税引き上げの影響によるものである。
 - ペーパー製品の売上は、消耗されるたばこ製品の販売数量が米国（Vuse の堅調を受け 66%増）、カナダ、スペインに牽引され 43%増の 1 億 4,500 万ポンドと好調な中、41%増の 2 億 6,500 万ポンドとなった。
 - モダン・オーラル製品の売上は、主に欧州・北米市場が牽引し販売数量が 7 億 1,700 万袋へと 74%増大したことを受け、67%増の 7,700 万ポンドとなった。米国においては、Velo の販売数量が 7,400 万袋（2019 年 6 月 30 日期：200 万袋）へと大幅に増大した一方で、競争の激化とカテゴリー全体の成長により、2020 年第 2 四半期の数量ベースのシェアは下落した
- **調整後営業利益は、調整後売上の増収および効率性の向上（プロジェクト・クオンタムを通じた 2 億 4,000 万ポンドの経費削減を含む）を受け、新カテゴリーへの投資増額を相殺して余る 3.1%増の 53 億 6,800 万ポンド（同一為替レートでは 3.3%増の 53 億 7,900 万ポンド）となった。**
- **実勢為替レートの調整後オペレーティングマージンは 43.7%へ 0.8 ポイント拡大（同一為替レートでは 0.4 ポイントの拡大）となった。**
- **同一為替レートの調整済希薄化 EPS は 6.6%増の 159.1 ペンス。**
- **調整後営業キャッシュ・フローは、フリー・キャッシュ・フロー（株主への配当金支払い後）が 5,100 万ポンドの流入（2019 年 6 月 30 日期：10 億 5,200 万ポンドの流出）となり、28 億 600 万ポンドへと 91%増加。この改善は米国における消費税および法人税（13 億米ドル）の繰り延べが主因であり、52%増の 34 億 8,400 万ポンド（2019 年 6 月 30 日期：22 億 8,800 万ポンド）となったことから、コロナ禍による在庫積み残しの増加（4 億 900 万ポンド）のマイナス影響を相殺して余る格好となった。営業キャッシュ・コンバージョン比率は米国における消費税（7 億 9,500 万ポンド）の 2020 年下期への繰り延べを受け、80%（2019 年 6 月 30 日期：66%）となった。**
- **調整後正味負債⁷は 442 億 3,700 万ポンド（2019 年 6 月 30 日期：455 億 3,200 万ポンド、2019 年 12 月 31 日期：417 億 2,600 万ポンド）と為替換算による影響を主因に、2019 年 12 月 31 日期から増大した。**
- **BAT グループは、2020 年度の営業キャッシュ・コンバージョン比率が 90%超を達成すると予想している。また、調整後 EBITDA に対する調整後正味負債の比率は、2021 年度末までには 3 倍となると見込んでいる。**

今回の四半期配当の支払いは、すでに発表されている一株当たり210.4ペンスの配当を4等分した52.6ペンスとなり、2020年8月に支払われます。

1. 非財務重要業績評価指標(KPI=key performance indicators)については、英語版上期決算報告書の57頁～58頁に記載。
2. 3つの優先事項とは、「燃焼たばこ製品の価値向上」、「成長の後押しと新カテゴリーのための投資を継続」、「プロジェクト・クオンタムの第1段階の完了に向けた事業の変革」。
3. 当社調べ
4. 金額ベースでのシェアは、小売調査機関(ニールセンおよびマーリンを含む)による独立した集計および消費者への販売高報告書、サプライチェーン内の出荷高(小売業者への卸売り)シェア予想の最新の有効データに基づくシェア。業界全体の販売額に対する当社の販売額の割合で示される。
5. 主要市場の数量ベースでのシェアは、小売調査機関(ニールセンおよびマーリンを含む)による独立した集計および消費者への販売高報告書、サプライチェーン内の出荷高(小売業者への卸売り)シェア予想の最新の有効データに基づくシェア。主要市場は当グループの紙巻たばこ販売数量の80%強を占める
6. 調整後売上は、取得後に短期製造契約に基づき売却された仕入れ品に対する物品税を除外したものである。英語版上期決算報告書の38頁にある通り、この物品税により売上と営業利益率に一時的にひずみが生じることになる。短期契約が終了すると、商品は当グループにより製造され、グループの方針通り、物品税は販促費や売上に含まれることから、売上減につながり、オペレーティングマージンは改善するが、これはグループの実質的業績を示すものではない。こうした調整に関連した欧州・北米における短期製造契約が2019年に終了した、あるいは2020年度中に無形化する場合、2019年度が当グループによる仕入れ品に対する物品税に含まれる最終年となる。調整をこうした調整は、欧州・北米における一部の非戦略的な燃焼たばこの販売数量にのみ適用される。2020年度の業績には調整がなく、前年度との比較のみとなっている。
7. 調整済正味負債とは、8億7,700万ポンドの取得原価配分調整による影響(2019年6月30日:9億1,500万ポンド、2019年12月31日:8億4,800万ポンド)を正味負債から除外したものである。